

鉄道切手で旅するオーストリア

オーストリアは多くの鉄道切手を発行している。そのほとんどがローカル線の周年記念切手であり、古き蒸気機関車、車両である。これらの切手を1枚ずつゆっくり関係サイトを調べながらオーストリアを巡ってみたい。

関係サイトを見て鉄道に対する思いをその資料の充実ぶりから感じ取れる。



鉄道模型会社

オーストリア鉄道開業記念

1837 年開業

100 周年

1937 年



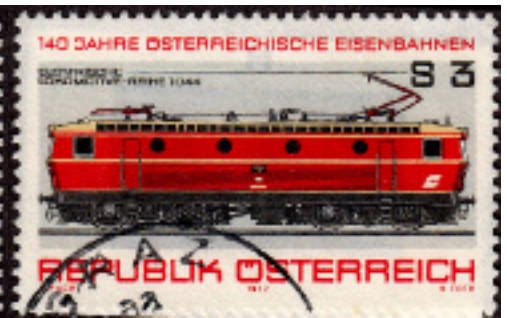
125 周年

1962 年



140 周年

1977 年



175 周年

2012 年



オーストリア最初の電車運行

ウィーン近郊のメードリング駅とクラウゼン駅間 4.4kmを運行。1m 幅の軌道。550 ボルト

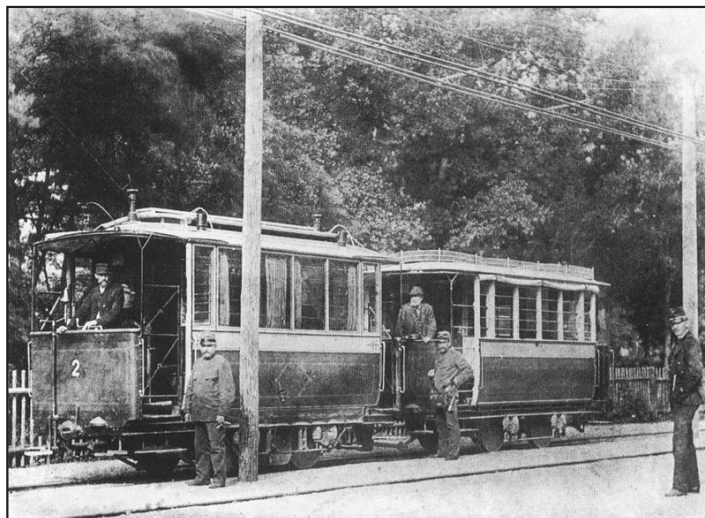
オーストリアで最初の路面電車 全長 4.4km の路線は 1932 年に閉鎖された。



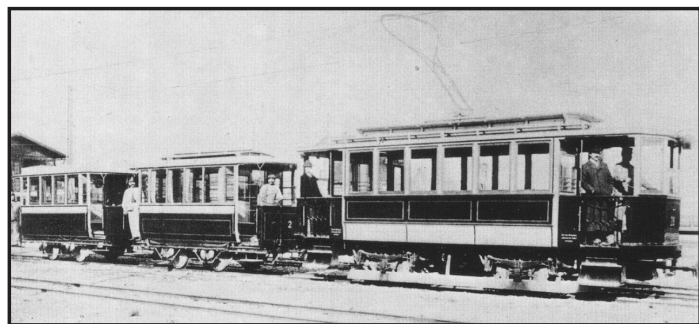
1883 年 オーストリア発行
メードリング駅とクラウゼン駅電車運行

100 周年切手

1883 年 -----1983 年



1883 年運行の車両



ジェール・ショプロン・エーベンフルト鉄道

ジェール・ショプロン・エーベンフルト鉄道はハンガリーとオーストリアで営業している鉄道会社で、1872年に設立され、本社はハンガリーのジェール・モション・ショプロン県のショプロン市にあり、オーストリア支社はショプロン市の国境を越えた隣村のヴルカプロードスドルフ村にある。2009年の所有権はハンガリー66%、オーストリア33%、その他となっている。
切手はオーストリアで2件2種、ハンガリーで1件4種発行されている。



1979年 オーストリア発行
ジェール・ショプロン・エーベンフルト鉄道
開業 100 周年切手
1879 ----- 1979 年
左 ブルゲンラント州章、右 ショプロン市章

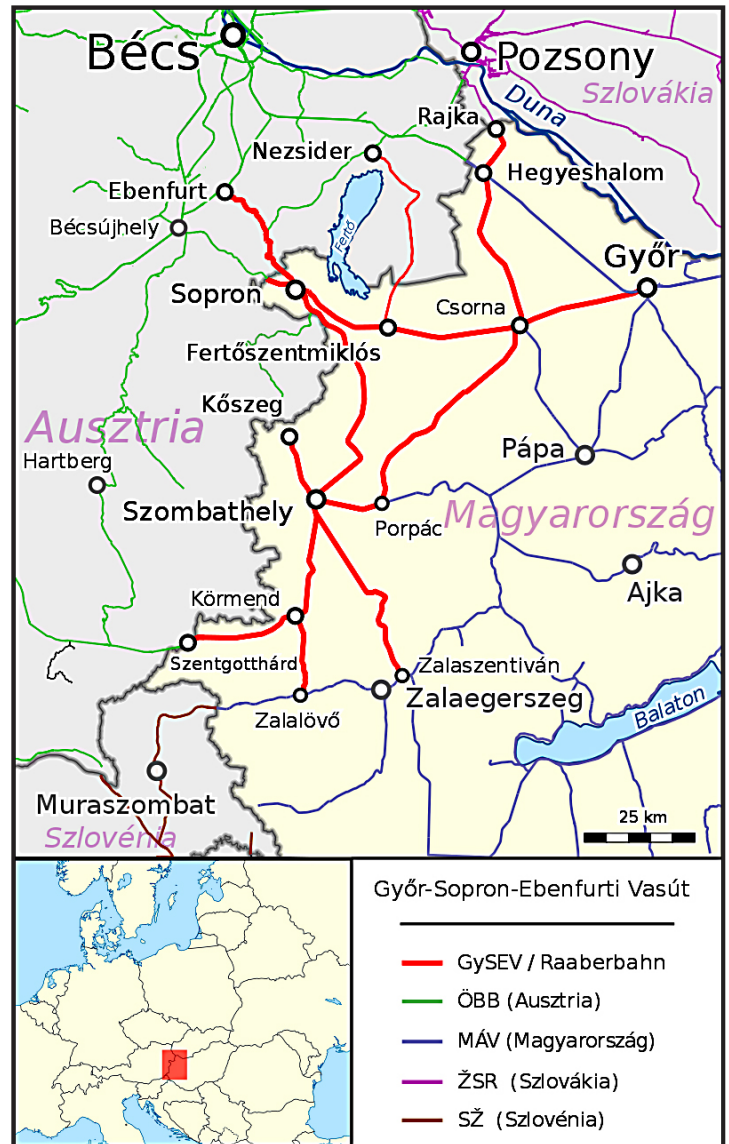


2012年 オーストリア発行
140 Years Since the Grant of a Licence for the Raab-Oedenburg-Ebenfurt Railway
Raab-Oedenburg-Ebenfurt 鉄道認可付与 140 周年切手
1872 ----- 2012 年 140 年



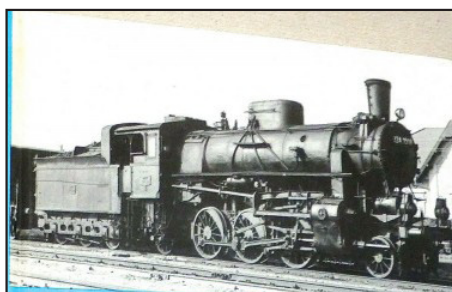
Ebenfurt 紋章

愛称はハンガリー語では「Repcevasút」(「菜の花鉄道」)、ドイツ語では「Raaberbahn」(「ジェール鉄道」または「ラーバ川鉄道」)とも、ラーバーバーン(Raaberbahn)、ラーバー鉄道とも言われている。





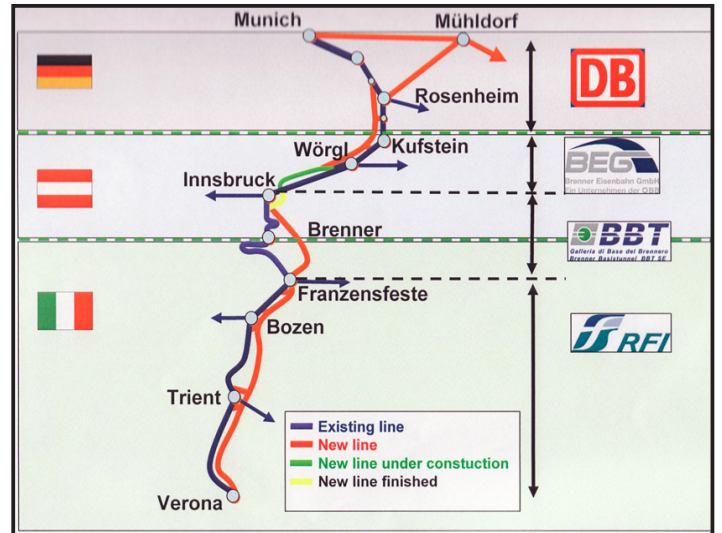
1979 年 ハンガリー発行 4 種
 ジェール・ショプロン・エーベンフルト鉄道
 開業 100 周年切手
 1879 ----- 1979 年
 左 ブルゲンラント州章、右 ショプロン市章



ブレンナー鉄道

オーストリア チロル州インスブルックからブレンナー峠を経て
イタリア ヴェローナを結ぶ欧州横断1号線（ベルリン - ミュン
ヘン - ローマ - パレルモ）の一部を構成する鉄道路線。オースト
リア連邦鉄道とイタリア鉄道の境界である標高 1,371m のブレ
ンナー峠を通過する。最大勾配 3.1 ‰、最小半径 264m
。ポンテ・ガルデナ＝ライオン - ボルツァーノ区間には 1990 年
代から二つの長いトンネルが建設された。

イタリア領内に 70% 路線がある。



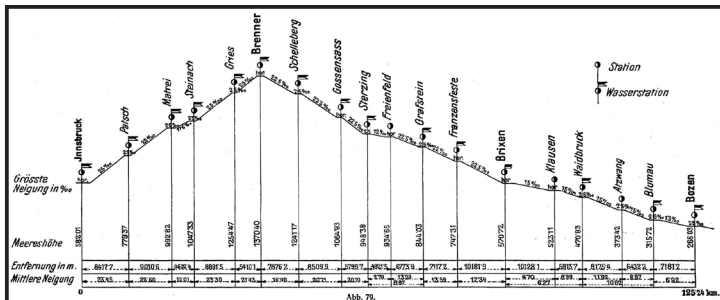
1967 年 オーストリア発行
ブレンナ鉄道開業 100 周年切手
1867-----1967 年



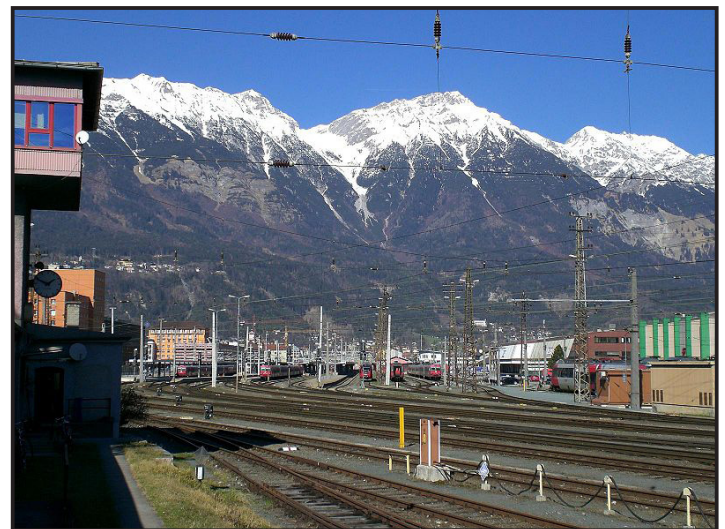
2017 年 オーストリア発行
ブレンナ鉄道開業 150 周年切手
1867-----2017 年



冬のブレンナー線



路線標高図



チロル州 州都 インスブルック 中央駅



ブレンナー峠を越えるユーロシティ列車



冬のブレンナー峠駅



イタリアドロミテ地方を通過するブレンナー線

<https://www.dokumentationszentrum-eisenbahnforschung.org/brennerbahn.htm>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%96%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%83%8A%E3%83%BC%E7%B7%9A>

アールベルク鉄道

https://en.wikipedia.org/wiki/Arlberg_railway

オーストリアの都市インスブルックとブルーデントゥを結ぶアールベルク鉄道（ドイツ語: Arlbergbahn）は、オーストリアで唯一の東西の山岳鉄道である。ヨーロッパで最も高い標準軌の鉄道の1つであり、オーストリアではブレナーに次いで2番目に高い鉄道です。135.7 km の路線は、雪崩、土砂崩れ、落石、洪水の脅威にさらされているため、非常に厳しい山岳鉄道です。オーストリア連邦鉄道（ÖBB）が運行し、オリエント急行を含む国際列車が頻繁に運行している。



1984 年 オーストリア発行
アールベルク鉄道
開業 100 周年切手
1884-----1984 年



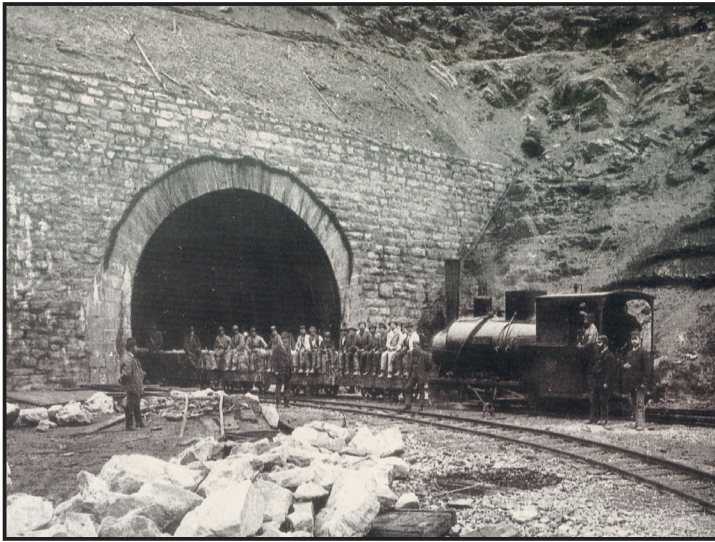
Inn 川の鉄橋



near Pians village west of Landeck の西 Pians 村付近
ガッチコプフ (2945m)、ブランカホルン (2822m)、ヴァネンコ
プフ (2821m) とラウハーコプフ (2811m) を背景に運行



アールベルク鉄道路線図



アールベルクバートンネル建設時の記録



Landeck トンネル



冬のアールベルクと峠道の景色



Trisanna 橋と Wiesberg 城



ランデック・ザムス駅のパノラマ

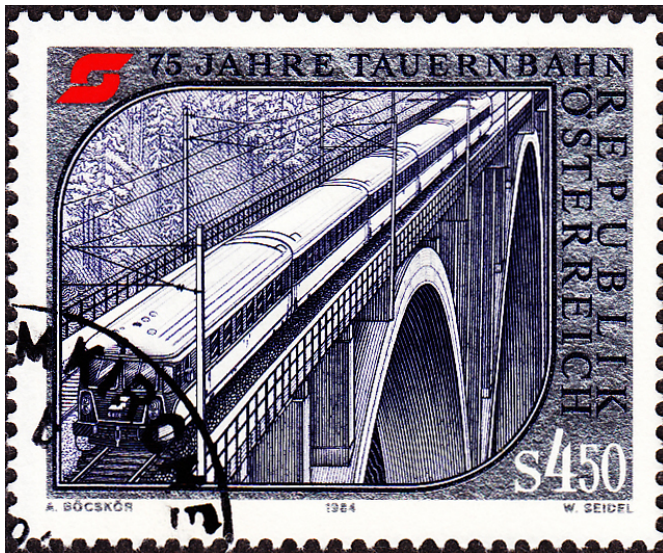
タウエルン鉄道

<https://de.wikipedia.org/wiki/Tauernbahn>

タウエルン鉄道はザルツブルク州のシュヴァルツアッハ＝ザンクト・ヴェイトとカリンシアのスピットル＝ミルシュテッターゼー間を運行している。ヨーロッパで最も重要な南北幹線道路の一部であり、ガスタイン渓谷の観光開発にも役立っています。この歴史ある山岳鉄道は 79 km の長さで、ホーエタウエルンを 25/000 の最大勾配を運行しています。1920 年以来、タウエルン高速道路の渋滞対策としてタウエルントンネル 8371m を利用し車を積載して運行しています。現在、カーロックの後、運転手等はパノラマワゴンの車両に移り、目的地まで景色を楽しむ。ÖBB によると、年間約 40 万人の乗客を乗せた 18 万台以上の車両が輸送されている。



ザルツブルク駅。背景にはテネンゲビルゲの頂上



1984 年 オーストリア発行

タウエルン鉄道

開業 75 周年切手

1909 -----1984 年



タウエルン鉄道運行地図



ビショフスホーフェン駅



88m のヴァルトマングラーベン高架橋



カーロックした列車

ザルツブルガー・ロカルバーン (SLB)

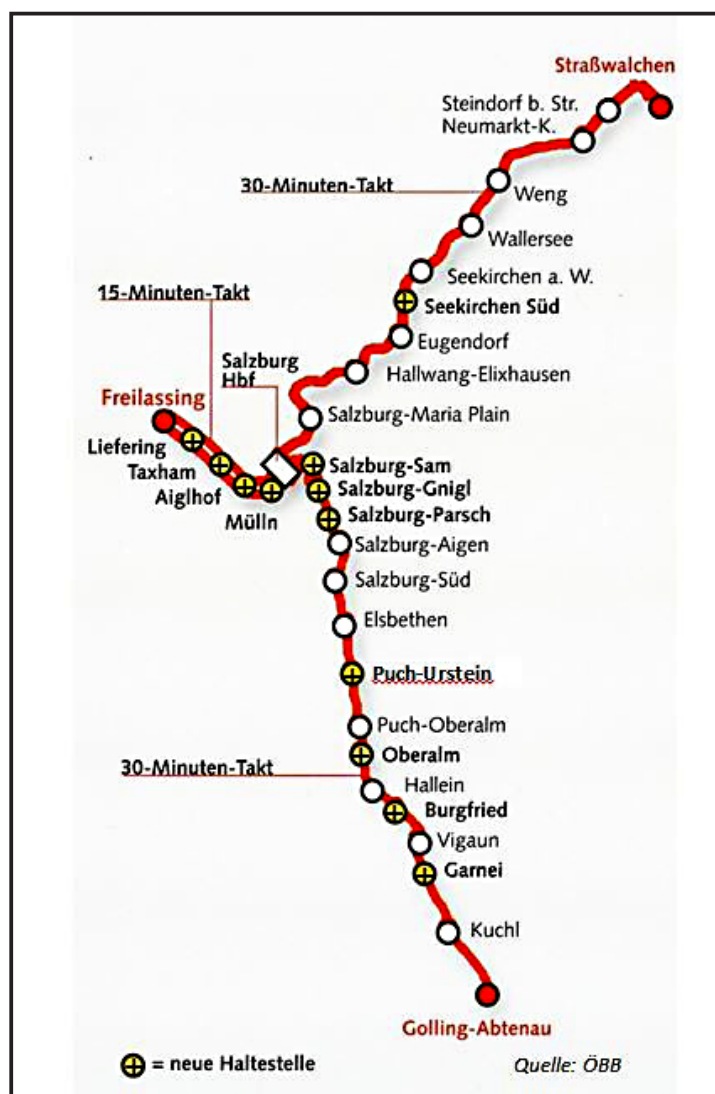
ザルツブルク - ランプレヒトツハウゼン鉄道は、通常ロカルバーンと呼ばれ、オーストリアで全長 25.598 キロメートルの支線です。標準軌と電化路線はザルツブルク中央駅からランプレヒトツハウゼンまで運行しています。運用上は、ビュルムースからオスターミーシングに分岐する支線と密接に接続されている。両鉄道は現在、ザルツブルク AG(ピンツガウアー・ロカルバーンと共に) によってザルツブルガー・ロカルバーン (SLB) というマーケティング名で運営されている。ランプレヒトツハウゼン支線は S1 としてザルツブルク S パーンのネットワークに統合され、オスターミーシングを発着する列車は S11 としてザルツブルクまで部分的に連続して運行しています。過去には、鉄道は車両の配色にちなんでレッドエレクトリックとも呼ばれていた。



1986 年 オーストリア発行
ザルツブルク - ランプレヒトツハウゼン鉄道開業
100 周年記念日切手 Jubiläum 記載の意味？
1886 -----1986 年



開業時の蒸気トラム機関車ガルテナウ



ザルツブルク - ランプレヒトツハウゼン鉄道運行地図



現在の運行トラム

過去のザルツブルク - ランプレヒトツハウゼン鉄道



1886年サマーカー C7 マリアゼル



1895年 マリアゼルのスチームトラムウェイサイドカー BC 6



1886年 サイドカー BC 109 以前は蒸気路面電車



1902年 機関車 11「ヘルブルン」とマリアゼルのザルツブルク客車



1907年 サイドカー MBC 3



1974年頃、旧ザルツブルク地方駅で出発準備の整った列車